

1日でも早くタクシー事業法を成立を

タクシー議員連盟日 200名を集める

(兵庫地連 2012 新春旗開き)

2012年1月15日 神戸市中央区の「ホテル北野プラザ六甲荘」で開かれた。

兵庫地連（北坂隆生委員長）は1月15日に、神戸市中央区の「ホテル北野プラザ六甲荘」で新春旗開きを開きました。旗開きは、全自交労連本部、連合兵庫、県交運労協、県タクシー協会、全自交の労働組合があるタクシー会社の幹部、各級議員などの来賓ら総勢75人が参加して盛大に開かれました。

主催者代表のあいさつで北坂委員長は「私たちは、3.11東日本大震災で被災したハイタクの仲間に対して義援金だけでなく飲料水やタクシー車両を送る取り組みをしました。17年前に阪神・淡路大震災で被災した私たちとしては、同じ被災者の立場で、東北の仲間に対して引き続き支援していきたい。今、タクシー業界は、景気の悪化と大震災によって利用客が減少する中で多くの問題を抱えている。



私たちの運動の成果として生まれた特措法によって、減車が実現したが、私たちの労働条件や賃金の改善には余り反映されていない。このままでは労働者だけでなく経営者もふらふらで業界が荒廃してしまう。1日でも早くタクシー事業法を成立させなければならない」と訴えました。

来賓の松永次央労連書記長は、「12月に第3回民主党タクシー議員連盟が開かれ、タクシー事業法の成立のために議員200名以上を集めることが確認された。今現在180名を超えているからもうひと頑張りである。今日お見えの国会議員及び秘書の方をお願いしたい。今度の国会で何とか成立させるために、タクシー事業者そしてハイタクフォーラムが一致団結してやっていきたいと思っている。昨年言葉とされた『絆』をそれぞれ胸に秘め、タクシー業界が盛り返せるように、30年前と言われる今の年収が少しでも上向くようにしていきたい」とあいさつをしました。

この後、来賓の連合兵庫の土肥淳二事務局長代理、兵庫県交運労協の平田周司議長、全自交近畿地協の塚本新二議長、私鉄関西ハイタク労連の大城武一委員長らが祝辞を述べました。

今年は兵庫県タクシー協会から初めて出席、あいさつをした皆見房雄会長代行は、来賓の地元選出民主党国会議員に党タクシー政策議員連盟への参加を訴えました。また、衆議院国土交通委員の民主党の向山好一・兵庫県連副代表は、「先の通常国会で継続審議になった交通基本法を今国会で何か成立させたい。タクシー事業法も、議員連盟の幹事長の吉田おさむ議員が国土交通副大臣に本日就任した。これは皆さんにとって追い風だと思う。成立に向けて尽力を尽くしたい」と述べました。

乾杯の発声は板橋一信兵庫地連副委員長が行いました。